



エリアリンク株式会社

2015年12月期(第21期)第2四半期 株主通信

(証券コード 8914)

株主の皆様へ

ストレージを基幹事業に、超安定高成長企業に向けて、 「理想の不動産」を創造します

いつも当社に温かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。

今期は、投資用不動産需要の高まりによる価格の上昇を受け、かねてより保有していた収益不動産の積極的な売却を進めました。2015年12月期第2四半期では、不動産再生・流動化サービス事業における販売用不動産の売却が通期計画を上回り、7月23日には7期連続の上方修正を発表いたしました。また年間前倒しスケジュール^{*1}のもと、上期にストレージの出店を積極的に行いました。その結果、各事業も順調に拡大し、売上高111億10百万円、営業利益は21億87百万円、純利益13億19百万円となりました。

今年2月にはハローストレージの出店に特化した仙台営業所を開設しました。既存の大阪オフィス、名古屋営業所に加え、2014年5月に開設した東京・千葉・埼玉・神奈川オフィス、同年12月に開設した神戸・福岡営業所に続き、9拠点目となる期待の営業所です。宮城県ではこの仙台営業所開設の効果もあり、6月末時点で昨年同時期の2倍近くの861室まで運営室数を伸ばしており、各地域での営業拠点の開設による出店スピードの加速に大きな手ごたえを感じています。こうした営業拠点を2018年までに35拠点を開設することで、他社の追従を許さない出店スピードを維持し、2025年にはシェア50%を目指していきたいと考えています。

当社では人材育成にも力を入れています。「社員と家族が幸せになる会社」だけが、真にお客様に喜んでいただける商品を提供できるという信念のもと、「満足のいく報酬」「十分な休暇が取得できる」「残業が少ない」会社となるよう、エリアリンクマスター制度^{*2}の継続や目的明確ワープ化シート^{*3}の活用など徹底的な業務効率化を進めています。社員がやりがいを持って業務に取り組めるよう、ビジョンの共有をテーマとした社内イベントである「キックオフ」の開催など、様々な角度から一人一人が最大限に能力を発揮できる環境作りに取り組んでいます。

当社は10年後には経常利益100億円を従業員数200人の規模で達成したいと考えています。高い目標ではありますが、エリアリンクマスター制度をはじめとした当社ならではの経営改革を通じて実現していきます。今後とも株主の皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長

林 尚通

- ※1 12ヶ月を3つの時期にわけ、それぞれの期間で注力するポイントを明確にした営業スケジュールを指します。
- ※2 当社独自の制度で、4つのツールを用いてその活用度に応じて資格を設定しています。自ら課題を考え解決する組織への変革を目的としています。
- ※3 社員一人ひとりが自身の業務の目的を明確にし、目的に応じた改善を毎月継続して行います。全社員の能力の底上げを目指すために使用する社内ツールを指します。



「時代を読む」のご紹介

自身の実践を通じた経営スタンス・考えを「時代を読む」というコラムで2000年より毎月発行しております。「時代を読む」はホームページからご覧いただけます。

<http://www.arealink.co.jp/seeahead/>

業績の概要

●2015年12月期第2四半期業績結果

前年同期比二桁増収増益

	単位: 億円	前年同期比
売上高	111.1	15.6%増
営業利益	21.9	61.0%増
経常利益	19.8	57.8%増
四半期純利益	13.2	48.0%増
1株当たり四半期純利益(円)	10.75	48.0%増

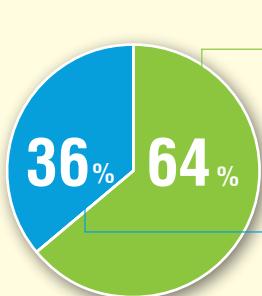
ストレージ事業の積極的な出店政策と、不動産再生・流動化サービスの計画を上回る成果により、売上高、利益とも増加しました。

●2015年12月期業績予想

期初予想を上方修正し、営業利益・経常利益は増益の見通し

	単位: 億円	前期比
売上高	174.3	3.8%減
営業利益	25.0	11.9%増
営業利益	22.9	9.6%増
当期純利益	15.1	1.8%減
1株当たり当期純利益(円)	12.32	1.8%減

●事業別売上構成 (2015年12月期第2四半期)



不動産運用サービス 70.9億円 構成比 64%

不動産運用サービスとは？

基幹事業であるレンタル収納スペース「ハローストレージ」や、収益不動産の保有、貸会議室の運営等、外部環境に左右されない安定的な事業展開を行っています。

不動産再生・流動化サービス 40.2億円 構成比 36%

不動産再生・流動化サービスとは？

当社が保有している不動産に小規模な改修を行うことで付加価値を加え、販売する事業です。不動産市況の変化に合わせた堅実な展開を目指します。

配当について

株主様への利益還元につきましては、当社の成長によるキャピタルゲインと配当によるインカムゲインの両面から行うことを念頭においています。2015年12月期は、将来の事業拡大へ向けた投資に必要な内部留保を行った上で、期末に1株当たり2.8円の配当を実施する予定です。

1株当たり年間配当金

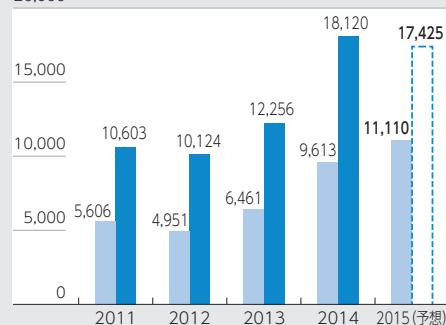
	2013年12月期	2014年12月期	2015年12月期(予定)
	2.5円	3.6円	2.8円

売上高

■ 第2四半期 ■ 通期

(百万円)

20,000



営業利益

■ 第2四半期 ■ 通期

(百万円)

2,500



当期純利益・ROE

■ 第2四半期 ■ 通期 — ROE

(百万円)

1,600



※ROEは通期の数値です。